

UD ダイポールアンテナ用 オプション

Unit set for Dipole antenna of the Universal mount use.

MODEL UDE-721

Various Dipole antenna for 7/21MHz band.

取扱説明書

お買い求めいただきまして誠にありがとうございます。

安全にお使いいただくために！

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

この取扱説明書は、必要なときにご覧になれるように大切に保管しておいてください。

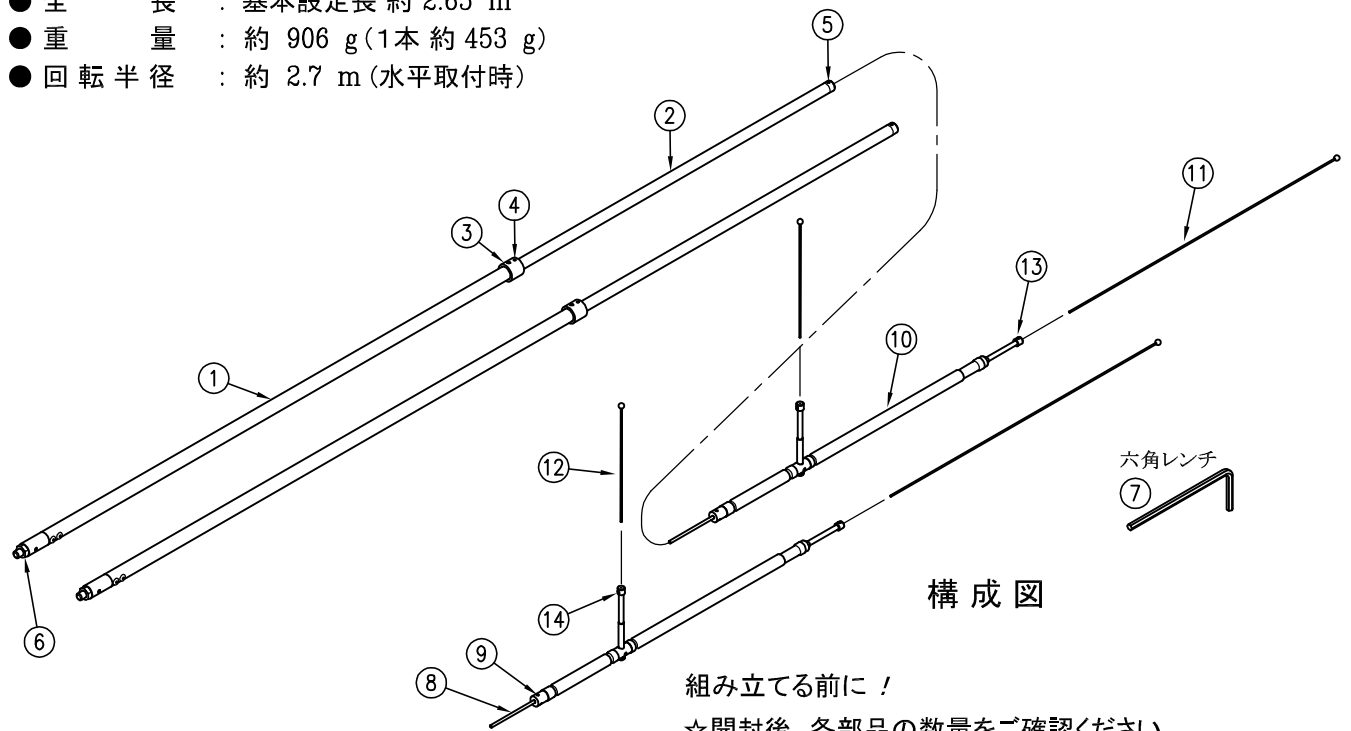
UDダイポールアンテナのオプションエレメント(2本組)です。

【特長】

- アンテナ用基本セット UDM-1 に取付けられる、オプションの7/21MHz帯用アルミエレメントです。
マンション等のベランダ運用にも適した、軽量・コンパクトなエレメントです。
- ドライバー・スパナなどで簡易に組み立て取り付けられます。
- エレメントは、傾斜形、L形、V形などへ容易に変更できます。

【仕様規格】 条件: UDM-1 に取付

- 送信周波数 : 7.0~7.2 & 21.0~21.45 MHz 帯
- 耐入力 : 120W J3E/SSB (7/21MHz)
- インピーダンス : 50 Ω
- V. SWR : 1.5 以下 (7/21MHz) 帯域幅: 約 fo±9KHz(7MHz) , 約 fo±40KHz(21MHz)
- コネクター : M-J 型(CBL-2500 による)
- 全長 : 基本設定長 約 2.65 m
- 重量 : 約 906 g (1本 約 453 g)
- 回転半径 : 約 2.7 m (水平取付時)



部品名	図番・規格	数量	部品名	図番・規格	数量
1 下部パイプ	φ15 × 約 738 mm	2	8 継エレメント		2
2 上部アルミパイプ	φ12 × 約 1158 mm	2	9 ホーローセット	M4×4 継エレメント固定用	6
3 ストッパー		2	10 ローディングコイル		2
4 ホーローセット	M4×4 上部パイプ固定用	4	11 調整エレメント	7MHz用 φ1.5 × 400 mm	2
5 ホーローセット	M4×4 継エレメント固定用	2	12 調整エレメント	21MHz用 φ1.5 × 150 mm	2
6 六角ナット	M8用 N	2	13 ホーローセット	M4×4 調整エレメント固定用	2
7 六角レンチ	対辺 2	1	14 ホーローセット	M4×4 調整エレメント固定用	2

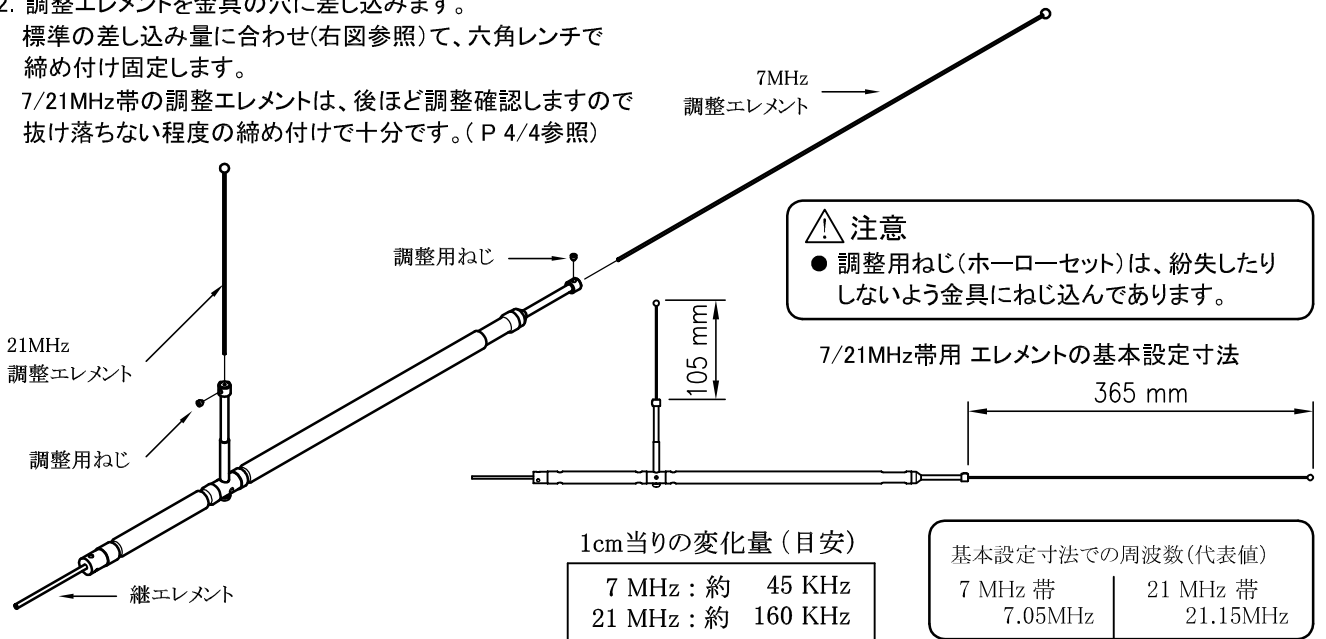
数量は、エレメント2本分です

【組み立て方法 1】

- 1-1. 調整用ネジ(ホーローセット)を六角レンチ(対辺2)で緩めます。
- 1-2. 調整エレメントを金具の穴に差し込みます。

標準の差し込み量に合わせ(右図参照)で、六角レンチで締め付け固定します。

※ 7/21MHz帯の調整エレメントは、後ほど調整確認しますので、抜け落ちない程度の締め付けで十分です。(P 4/4参照)



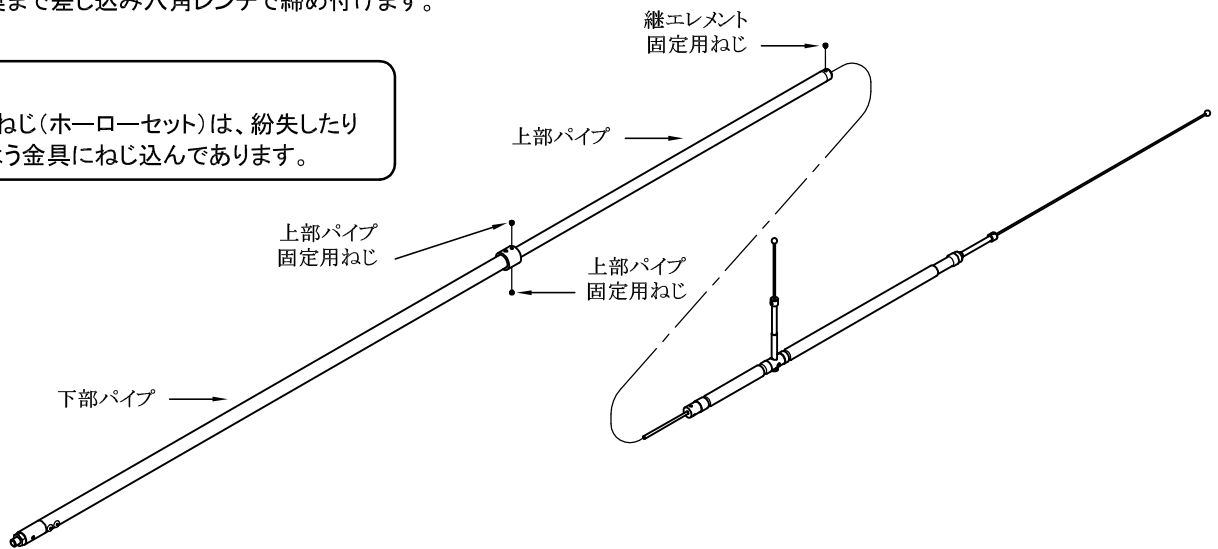
【組み立て方法 2】

- 2-1. 上部パイプの金具にある固定用ネジ(ホーローセット)を六角レンチ(対辺2)で緩めます。
- 2-2. 継エレメントを上部パイプの金具の穴に、すき間がないよう奥まで差し込み六角レンチで締め付けます。

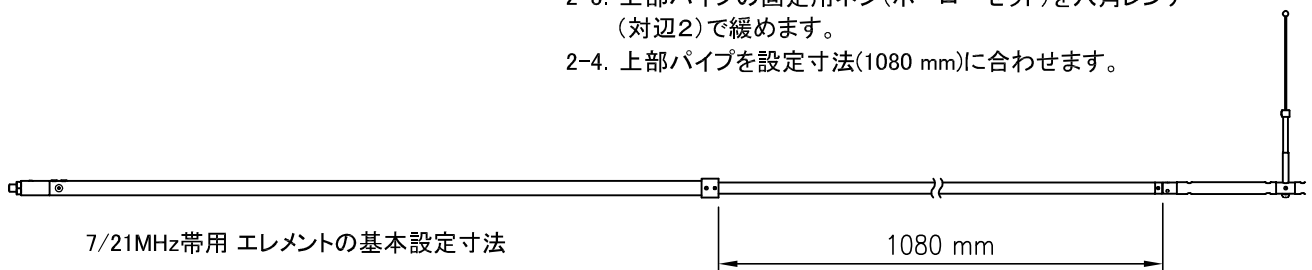
注意
● 調整用ねじ(ホーローセット)は、紛失したりしないよう金具にねじ込んであります。

取扱い・運用上の注意
● エレメントの取付け・取外しなどの作業中に、目などつついたりしないよう取り扱いください。

注意
● 調整用ねじ(ホーローセット)は、紛失したりしないよう金具にねじ込んであります。

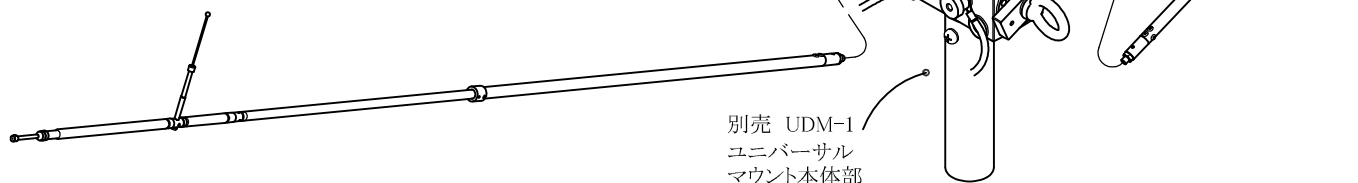


- 2-3. 上部パイプの固定用ネジ(ホーローセット)を六角レンチ(対辺2)で緩めます。
- 2-4. 上部パイプを設定寸法(1080 mm)に合わせます。



【組み立て方法 3】

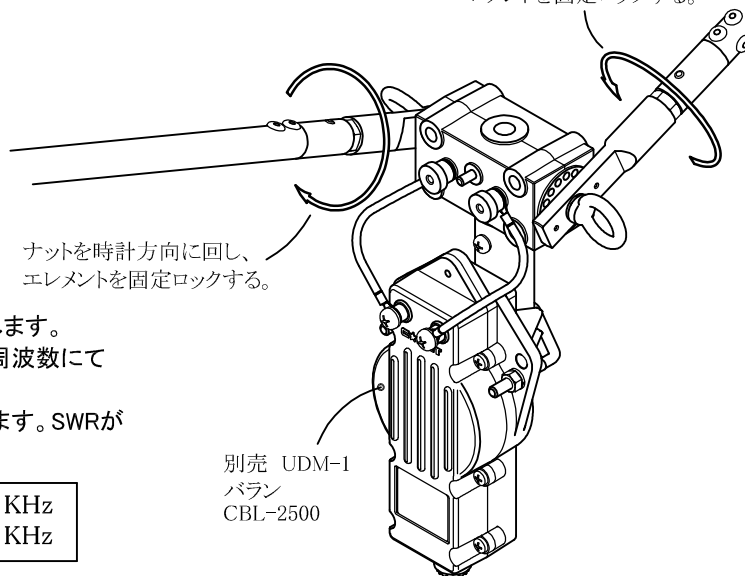
- 3-1. 組み立てたエレメントをアームのネジ穴に、最後までねじ込みます。
- 3-2. 21MHz帯の調整エレメントが上を向くように戻してから、エレメント下端のナットを時計方向に廻して、スパナなどで締め付け固定します。
- 3-3. もう片方のエレメントも同様に取り付けます。



⚠ 取扱い・運用上の注意

- エレメントの取付け・取外しなどの作業中に、目などついたりしないよう取り扱いください。

ナットを時計方向に回し、エレメントを固定ロックする。



ナットを時計方向に回し、エレメントを固定ロックする。

【調整方法】

1. 7/21MHz帯の調整エレメントの長さを確認します。
2. 同軸ケーブルをバラに接続し、運用する周波数にてSWRを測定します。
まず、21MHz帯を先に調整とSWRを確認します。SWRが1.5以下であればそのまま使用できます。

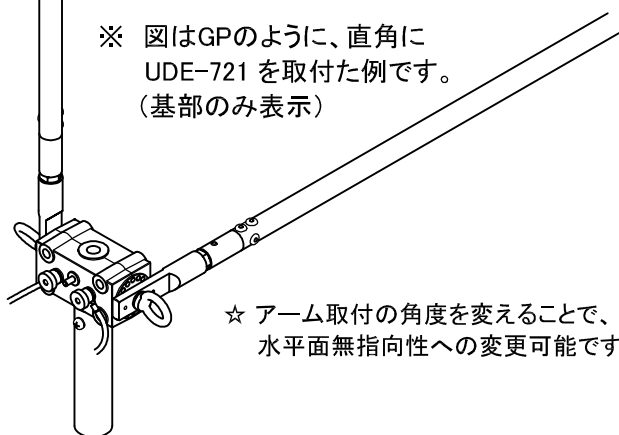
1cm当りの変化量
(目安)

7 MHz : 約	45 KHz
21 MHz : 約	160 KHz

周波数が高い場合、調整エレメントを変化量を参考に伸ばします。低い場合は調整エレメントを縮めます。

3. 7MHz帯を21MHz帯と同様に調整とSWRを確認します。SWRが1.5以下であればそのまま使用できます。
(環境によりエレメントをカットする場合があります。)
- ※ 設置環境によって、アンテナのSWR値が下がらない場合があります。
 - ※ 付属の六角レンチなどを用いて、各部の取付固定ねじ類が緩んでないか確認します。
 - ※ 帯域幅が狭いので、チューナー併用をお勧めします。

※ 図はGPのように、直角にUDE-721を取付た例です。
(基部のみ表示)



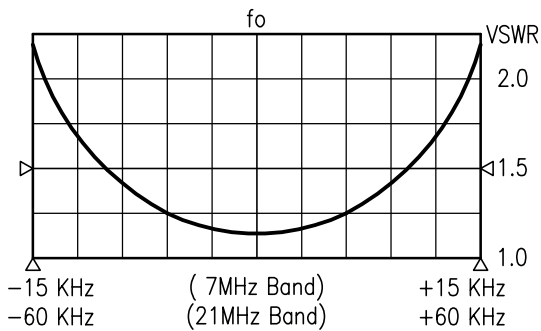
☆ アーム取付の角度を変えることで、水平面無指向性への変更可能です。

⚠ 作業・設置上の注意

- 屋根の上など高所作業の際には複数人で行い、落下事故やけが防止のために安全帽・安全帯を着用し作業してください。
- 取付ネジ・金具類はしっかり締め付け固定し防水処理などを施してください。固定が悪い場合には地震や強風などの振動で緩み、落下事故や短絡火災の原因になることがあります。
- 高圧電線や鉄塔・建造物など近くに障害物のない場所に設置してください。近くに障害物があると、誘導雷で焼損したり性能低下やSWRが悪化することがあります。
- 接続ケーブルのコネクターとバラのコネクターと同じ種類であることを確認してください。

⚠ 取扱い・運用上の注意

- アンテナ取付け・取外しやエレメント調整などのとき、目などをついたりしないよう取り扱いください。
- 送信時にはアンテナに触らないでください。火傷する場合があります。
- アンテナのコネクター・固定ネジ類はしっかり締め付け、はずれますと障害・器物破損事故の原因になります。
- 周囲に障害物などのないことを確認し、回転させてください。事故の原因になります。



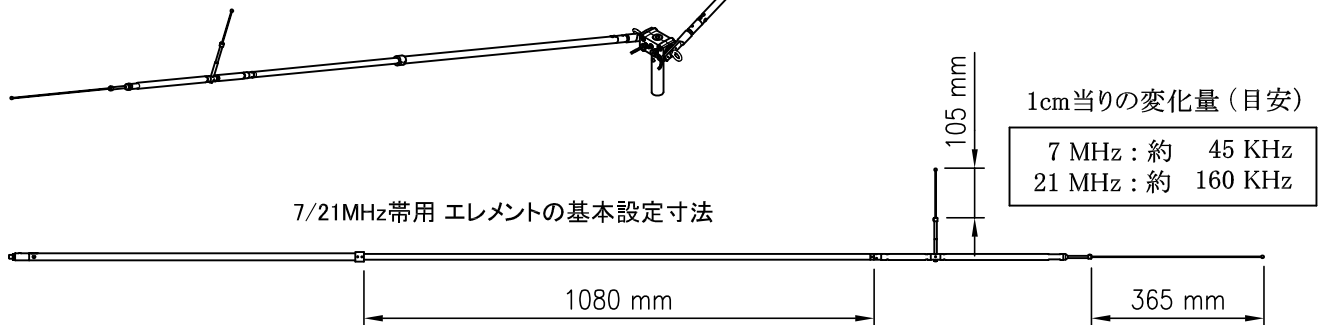
※ 取付高さ1.8m・取付角度 135°
特性図は、代表特性を表します。
環境や設置方法により特性が
異なりますのでご注意ください。

基本設定寸法での周波数(代表値)

7 MHz 帯 7.05MHz	21 MHz 帯 21.15MHz
--------------------	----------------------

取付例 外観図 (取付角度: 135°)

- 回転半径: 約 2.7 m (水平取付時)



⚠ 使用上の注意

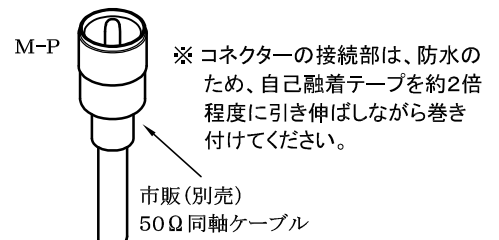
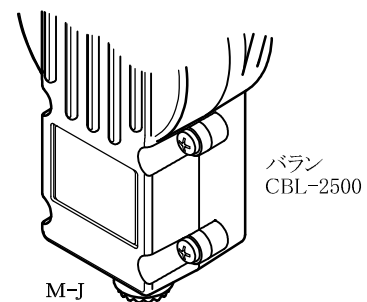
- アンテナの調整は正しく行ってください。
V.SWR が悪い場合、発熱・故障や性能低下の原因になります。
- アイボルトを緩めたとき、外れる場合があります。
- UDシリーズダイポールアンテナは、アマチュア無線用です。
アンテナとしての目的以外に使用しないでください。
- 規格仕様以上で使用しないでください。発熱や破損の原因になります。
- お客様自身での修理・改造は、故障の原因になることがあります。

【点検とお手入れ】

- ☆ 異常と思われる現象が発生したとき直ちに使用を停止し、お買い求めの販売店などにお申し付けください。
- 運用の前に、正常に働いていることを確認してお使いください。
- 経年変化などによる強度不足や変形した部品は、必ず取り替えてご使用ください。

【アフターサービス】

不慮の事故などによる各部品の破損、長期間のご使用による劣化交換のために補充部品を用意しております。お買い求めの販売店などにお申し付けください。
組立方法・その他技術的なご質問などは、弊社技術部までお問い合わせください。



コメット 株式会社

〒336-0026 埼玉県さいたま市南区辻 4-18-2

TEL 048-839-3131 (代) FAX 048-839-3136 <http://www.comet-ant.co.jp>

性能向上のため、予告なく外観・仕様を変更することがあります。

UDE-721 P4/4